

「Gunosy」開発チーム厳選、“統計学”必読書ベスト5

ツイートする | おすすめ 4 | ネットワーク

いまWeb業界で最もホットなトレンドの一つである“統計学”の基本を学ぶために読んでおくべき書籍を、注目のニュースキュレーションサービス「Gunosy」の開発チーム(福島さん・吉田さん・関さん)に伺った。

Gunosy 開発チームが選ぶ、“統計学”の必読書とは？

いま、Web業界で最もホットなトレンドの一つとなっている“統計学”。その基本的な知識を学ぶべく、前回(「Gunosy」開発チームから学ぶ、WEB業界人のための“統計学入門”)、“超高精度なレコメンド”で話題のニュースキュレーションサービス「Gunosy」を手がける福島良典さん、関喜史さん、吉田宏司さんに、“Web業界人のための統計学入門”と題して簡単に講義をしていただいた。



Gunosy開発チーム(左から、吉田宏司さん、福島良典さん、関喜史さん)

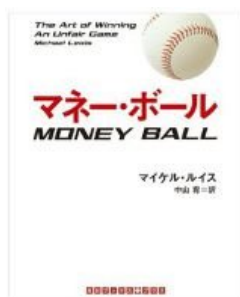
その内容を踏まえつつも、より体系だててしっかりと“統計学”を押さえるためには、やはり“本”を読むのが一番だという。そこで今回は、Gunosy開発チームの皆さんに、“統計学”を学ぶうえで読んでおくべき書籍をピックアップしていただいた。

数ある統計学関連の書籍の中から、選ばれたのは“5冊”の本。早速、ご紹介していこう。

【1】「マネー・ボール 奇跡のチームをつくった男」

Gunosyチームのコメント：

ブラッド・ピット主演で映画化もされたのでご存知の方も多いと思いますが、“統計を活用する”ということの最も良い実例だと思えます。読み物としても面白いので、“統計を勉強して何が出来るの？”という人にもオススメ。できれば映画よりも、本を。



(著)マイケル・ルイス (訳)中山有 (出版社)武田ランダムハウスジャパン

【2】「マンガでわかる統計学」

Gunosyチームのコメント：

教科書的な読み物が苦手な方は、まずこれから入るといいと思います。タイトルや表紙だけ見ると若干不安になる方がいらっしゃるかもしれませんが、そのイメージとは裏腹に、中身は非常にしっかりしています。



(著)高橋 信 (出版社)オーム社